



世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度

国際ロータリー会長 / ゴードン R. マッキナリー  
2690地区ガバナー / 石倉 貞昭

会長 / 清原 正幸 副会長 / 來間 久  
幹事 / 松浦 剛司 会計 / 小汀 泰之

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F  
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
6月13日	陳 韋仁 様	台雲酒造 - 台湾と日本をつなぐ蔵
6月20日	会長 清原 正幸	夜間例会 18:30~ 一年を振り返って
6月27日	休 会	
7月4日	次年度会長 來間 久	夜間例会 18:30~ 新年度会長方針
7月11日	クラブ協議会(各委員長)	行動計画発表

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
38	32	6 (5)	88.89

■欠席者

來間・飯塚大・石原・大谷厚 (黒田/釜屋)

■来訪者

原田明成ガバナー補佐、高橋信治グループ幹事 (出雲南)

■メイクアップ なし

■次回例会受付当番

(6月20日) 大谷厚郎/恒松克己/荒木克之

(7月4日) 多久和優美/安食 賢/福田磨寿穂

■近隣クラブ例会情報(メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	松江
火	6/17 6/24・7/29(-)	6/17・24・7/22・8/19・26
水	6/18 6/25・7/16・8/13(-)	松江しんじ湖 6/18・25 7/16・8/13・27
木	大社 6/19 7/3・24 8/7 6/26・7/17・8/14(-)	松江 6/19 8/28 6/26・7/17・24・8/14(-)
金	(-); ビジター受付なし	松江東 6/20・8/29 6/27・7/11・8/15(-)
土	出雲南 6/14・21・7/12・8/30 6/28・8/16(-)	

■会長挨拶

本日のお客様を紹介いたします。2690 地区第四グループガバナー補佐 原田明成様、同じ第四グループグループ幹事 高橋信治様 にお越し頂きました。原田様、高橋様には平田ロータリークラブに対し格別のご高配を賜り誠にありがとうございました。本年、創立50年を迎えた年にスポンサークラブよりガバナー補佐様輩出も何かのご縁を感じるころです。本日も宜しくお願いいたします。

そして本日のスピーカーとして、在日台湾人の 陳 偉仁 (ちん いじん) 様にお越し頂きました。斐川町で日本酒作りをされていると聞きました。スピーチを非常に楽しみにしています。担当の国際奉仕委員会さんありがとうございました。

また、先日、平田ロータリークラブ会員満足度アンケートを行いました。回収率 78.3%でした。約、8割のデータを取ることが出来ました。今後につながる非常に参考になるアンケート結果でした。是非、51年目新しいスタートに向けて、よりよい平田クラブになるよう未来ビジョン委員会で協議し、活用していきたいと思っております。アンケート作成から回収、データ分析までお世話になった松浦幹事

ありがとうございました。

本日は、働きの悪い社員について考えていた時に出会った面白い記事の紹介をします。

インッパ物語の「アヒキリギリス」です。大抵の日本人は知っていると思います。いかにも勤勉さを尊ぶ国民性の日本人好みの話であるので、小さい頃から誰もが聞かされている話です。その結末は、2 種類あって、ここで紹介するのは最初の物語です。

暑い夏の間、アヒたちはみんなで協力して冬に備えて食料を蓄えるためせせと働く。それを横目で見ながらキリギリスたちは、バイオリンを弾き、歌を歌って楽しい時間を過ごしている。やがて冬が来て野山からは食料が消え、キリギリスたちは食べ物どこかこないか一生懸命探すが見つからない。キリギリスたちは最後にアヒたちを訪ね、食べ物を分けてもらおうと頼むのだが、アヒたちは「君たちは夏に歌ってたのしんでいながら、冬には踊ったらうだい」と食べ物に分けることを拒否し、キリギリスたちはとうとう飢え死にこしてしまふ。これが初期の元のストーリーである。ここでも、アヒという生物は常に働き者の代表として象徴的に書かれています。

ところが10年ほど前に、北海道大学農学研究院の長谷川教授が、「働きアリの法則」を発見し発表しました。これがとても興味深く、一言でいえば、アリはすべてのアヒが働き者ではなく、どんなアリのグループでも2割ほどのアリは、ほとんど働かないことを証明しました。先生の発見した法則は次のようです。働きアリのグループをよく観察していると、多くのアリはエサを見つけてせせと巣へ運んだり、女王アリの身の周りの世話をしたり、休む間もなく働いている。ところが約2割ほどのアヒが、ただちよこちよころうろうしていて、働いているふりをしているだけだったことが分かりました。

次の実験ではその2割の働かないアヒを取り除いて、せせと働くアヒだけを集団にしてみる。するとやはり2割ぐらゐの働かないアリが必ず出てくる。反対に働かないアリばかりを集めてグループにしても、その中で2割ほどはまぼ働かず、残った8割はせせと働くそうです。つまり必ず約2割のアヒは、誰と組んでもまぼ働かないし、今までせせと働いていたアヒばかり集めても2割は働かないそうです。

結論として、常に働かない2割ほどのアヒがアリ社会を守っているということです。24時間働きづめで、全員が疲れて動けなく状況が生れそうな時、怠けアヒが代わりに働いて穴埋めをし、アリ社会の全体のレベルを保っている。短期的な効率よりも、長期的に絶滅しないシステムがアリの社会では出来上がって成り立っているそうです。例えば、女王アヒが産んだ卵は常に手入れをしないと、すぐにカビが生えて死滅してしまふ。そんな時にたびり果てたアヒに代わって世話をするのが、普段はほとんど真面目に働いていない怠けアヒたちだそうです。

確かにアヒだけでなく、チームプレーを大切にしている団体競技スポーツをよく見ると、個人競技と違ってそれぞれに大切な役割があり、全員がそうすることでチームとして成り立っています。

振り返って、自分の会社のスタッフや関わっている組織を思い浮かべた時、その様子を見聞きするにつけ、ついつい単純に不満をもって見てしまう自分は、アリに比べてまだまだ未熟だな、と感じてしまふ。とありました。

みなさんも心当たりはありませんでしょうか？弊社だけかもしれませんが。不満は誰しもが思うところだと思います。それぞれがいったんは縁あって働いてもらっている社員さんです。もう一度いいところを探してみたいはかがでしょうか。会社あつてのロータリーです。社員あつての会社です。いずれにしても経営者には忍耐が必要

です。ロータリーは経営者でしか分からない悩みなども相談出来たりします。我がクラブにもたくさんの先輩方がいらっしゃいます。気兼ねなく相談されてみてほしいんじゃないかと思えます。それもロータリーの素晴らしいところだと思います。本日の例会も宜しくお願いします。

## ■ ■ ■ 幹事報告 ■ ■ ■

### 1. 例会変更

- 大社 RC 7/3(水) 初例会 18:30~ 会場:アソジ
- 7/24(水) 稲佐の浜清掃奉仕 6:30~
- 8/7(水) ラジオ体操早朝例会 6:30~ 会場:乗光寺
- ビクター受付 11:30~12:30 事務局
- 出雲南 RC 7/12(金) 移動例会
- 8/30(金) 早朝例会
- ビクター受付 11:30~12:30 事務局
- 松江 RC 8/28(水) → 8/26(月) 松江4RC 合同例会
- ビクター受付 12:00~12:30 ホテル一畑
- 松江東 RC 8/29(木) → 8/26(月) 松江4RC 合同例会
- ビクター受付 12:00~12:30 ホテル一畑
- 松江南 RC 7/22(月) 夜間例会(G 公式訪問)
- 8/26(月) 松江4RC 合同例会
- ビクター受付 12:00~12:30 松江エクセルホテル東急 1F
- 松江しんじ湖 RC 8/27(火) → 8/26(月) 松江4RC 合同例会
- ビクター受付 12:00~12:30 ホテル一畑

### 2. 休 会

- |            |                 |             |                |    |
|------------|-----------------|-------------|----------------|----|
| ○出雲 RC     | 7/16・8/13(火)    | 定款による       | 受 付            | なし |
| ○大社 RC     | 7/17・8/14(水)    | "           | "              | "  |
| ○出雲南 RC    | 8/16(金)         | "           | "              | "  |
| ○出雲中央 RC   | 7/29(月)         | "           | "              | "  |
| ○松江 RC     | 7/17・24・8/14(木) | "           | "              | "  |
| ○松江東 RC    | 7/11・8/15(木)    | "           | "              | "  |
| ○松江南 RC    | 8/19(月)         | "           | "              | "  |
|            | ビクター受付          | 12:00~12:30 | 松江エクセルホテル東急 1F |    |
| ○松江しんじ湖 RC | 7/16・8/13(火)    | 定款による       |                |    |
|            | ビクター受付          | 12:00~12:30 | ホテル一畑          |    |

## 原田明成 ガバナー補佐 様

### 御退任のご挨拶



### 《 ポール・ハリス・フェローバッジの贈呈 》

- |               |   |               |
|---------------|---|---------------|
| 太田 哲也 会員 4 回目 | ・ | 清原 正幸 会員 2 回目 |
| 松浦 剛司 会員 1 回目 | ・ | 荒木 克之 会員 1 回目 |

## ■ ■ ■ スマイル ■ ■ ■

### 原田明成ガバナー補佐・高橋信治グループ幹事

清原・松浦 (R12690 地区第4グループガバナー補佐原田明成様、グループ幹事高橋信治様ようこそ起こし下さいました。心より歓迎申し上げます。本日のスピーカー陳 韋仁(ちゃんいこん)様、本日はありがとうございました。スピーチ楽しみにしています。)

榎野 (原田ガバナー補佐、高橋グループ幹事様のご来訪を歓迎して。一年間大変お世話になりました。感謝申し上げます。)

福田磨 (入院お見舞いを頂き有難うございました。)

高砂 (原田ガバナー補佐様、高橋グループ幹事様一年間ご苦労様です。牧野様入会おめでとうございます。)

加藤 (陳さんようこそいらっしゃいました。奥様のユウコさん、お子さんの暢ちゃんとは仲良くさせて頂いています。)

小江 (原田ガバナー補佐、高橋グループ幹事様この一年間大変お世話になりました。今後ともご指導よろしくお願い致します。本日のスピーカー陳様、ようこそ平田クラブへ！ 本日総会のため中座致します。お許し下さい。)

園山 (議長職を退任しました。)

田中 (原田ガバナー補佐様、高橋グループ幹事様ようこそお会いいただきました。後2週間よろしくお願い致します。)

太田 (原田ガバナー補佐様、高橋グループ幹事様一年間お疲れ様でした。)

杉原 (原田ガバナー補佐様、高橋グループ幹事様、本日のスピーカー陳 韋仁様ようこそ平田 RC へお越し下さいました。)

堀江 (原田ガバナー補佐様、高橋グループ幹事様ようこそお出で下さいました。一年間お疲れ様でした。)

土江 (原田ガバナー補佐、高橋グループ幹事様ようこそいらっしゃいました。今年度も後少しですが引き続きよろしくお願い致します。)

原伸 (原田ガバナー補佐、高橋グループ幹事、ご来訪ありがとうございます。陳様、本日はスピーチ宜しくお願いいたします。)

神田 (原田ガバナー補佐、高橋グループ幹事、ご来訪ありがとうございます。本日のスピーカー陳 韋仁様ありがとうございます。残り2回の例会でネームプレートを忘れてしまいました。身を引き締めて残り頑張ります。)

### 2321 回例会分

神田 (牧野晴彦様ご入会おめでとうございます。健康面でもいつもお世話になっております。本日は趣味の会お疲れ様でした。お茶の会では皆様と共に茶道の勉強が出来ロータリーの有難みを感じました。)

## ■ ■ ■ 例会プログラム ■ ■ ■

### 「台雲酒造 — 台湾と日本をつなぐ蔵」 陳 韋仁 様



2008年に島根大学法文学部へ留学生としてやってきました。留学中に日本酒の美味しさに目覚め、「瀬祭」で知られる山口県の旭酒造に自薦で入社。そこで2年間働きました。その後、東京の出版社に転職したものの、日本酒への思いが捨てきれず、再び島

根県に戻り、松江市にある李白酒造で働き始めました。

「自分のお酒が造りたい」という志を持って李白酒造で過ごした2年の間に、広島県の酒類総合研究所や東北の杜氏組合の講習会へ出向き、酒造りの勉強を重ねていきました。仕事を覚えていくなかで、日本酒の原料である米についての知識が足りないと感じていました。そんな矢先、台湾に縁のある米「台中65号」の存在を知りました。

「台中65号」は、島根県の米「亀治」と兵庫県の「神力」を掛け合わせ、日本への輸出を目的に誕生した米。日本と台湾の文化や歴史を研究して存在を知り、自ら栽培を開始しました。この「台中65号」を使って酒を造り、台湾などへ輸出。すっきりとした味わいが評価され、国内外の品評会でもたくさんの賞を頂きました。

今回立ち上げた酒蔵の名前は、台湾と出雲から一字ずつつた「台雲酒造」。「台中六十五」のほか、兵庫県産の酒米を使った銘柄「台雲」も現在醸造しています。

今後は海を越えて出雲に観光客を呼び込み、醸造を体験してもらう計画をしています。

最後に「お酒を通じて日本と台湾の交流に役立ちたい」...